

## 教育支援実践研究交流会について

さわやかちば県民プラザ事業振興課主査 やまぐち ひでかず 山口 英一

### 1 趣旨

学校と地域の連携・協働の推進が図られる中、地域での教育支援の担い手となり得る教育関係のNPO団体や社会教育関係団体、学校支援団体及び市町村教育行政関係者が一堂に会し、講演や事例発表、情報交換により、参加者の資質向上や、参加者間のネットワーク構築を図ることをねらいとしている。

### 2 令和2年度の実施状況

#### (1)基調講演

特定非営利法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長の生重幸恵氏を講師に、「地域とつながるコミュニティ・スクール～次代を担う子どもたちの育成を～」というタイトルで講演を行った。

#### (2)事例発表団体

- ①野田市立川間中学校区学校地域支援本部
- ②市川にオオムラサキを生息させる会
- ③あびこレクリエーションクラブ

#### (3)成果

令和3年2月27日に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインで実施した。基調講演では、地域学校協働本部とコミュニティ・スクールが相互に補完し高め合う存在であることを学んだ。また、事例発表では、「コーディネート機能」、「多様な活動」、「継続的な活動」の視点から、学校における地域連携の知見を得た。

### 3 令和3年度の予定

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現を重視しており、そのために

は、地域と学校が連携・協働していくことが肝要である。そこで、「地域学校協働活動」の一助となることを願い、テーマを「地域と学校の協働で、子どもの潜在能力を最大限に引き出そう～地域の子どもは地域の希望～」として、令和4年2月26日に実施する。

#### (1)基調講演

茨城県生涯学習・社会教育研究会会長の長谷川幸介氏を講師に、「子どもの育ちを支える地域と学校の協働～子どもに手渡す『3つの力』～」というタイトルで講演を行う。

#### (2)事例発表

「協働」をキーワードに事例発表を行う。

##### ①多古高等学校学校運営協議会

令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しており、「小・中・高・地域連携」などのプロジェクトチームの活動から、地域コミュニティを確立するための方策を学ぶ。

##### ②NPO法人B-Net子どもセンター

大学生ボランティアによる、小学校での放課後子ども教室など、地域の方と協力しながら自分らしく輝く子供を育てる活動から、学校支援団体との連携方法を学ぶ。

##### ③総合型地域スポーツクラブ「柏の葉まちのサッカークラブ」

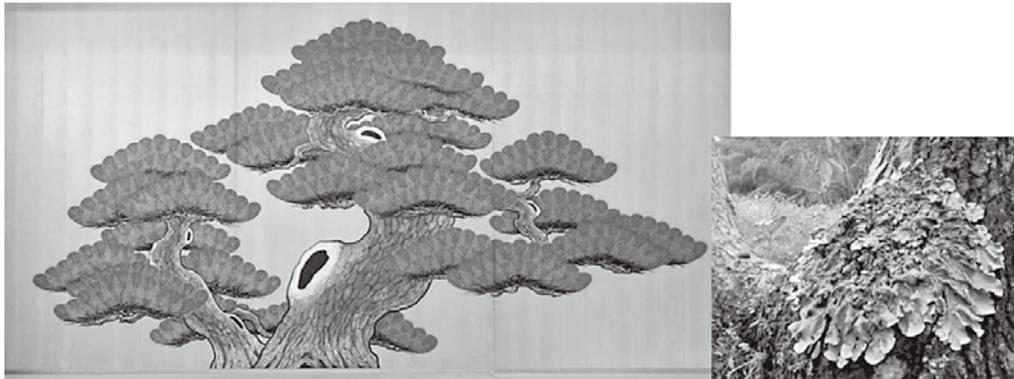
週末の活動以外に、週に一度平日放課後に、自分たちで遊びを創造し、学年に関係なく交流する場を地域の大人が見守る活動から、ボランティアの集め方や組織づくりを学ぶ。

\*参加をお待ちしておりますので、さわやかちば県民プラザホームページからお申し込みください。

## 令和3年度春の展示

### こけまつこけうめ ことほ 「苔松苔梅—春を寿ぐうめのきごけ—」

県立中央博物館



お正月にはお客様を迎えるためや神仏に供えるために木や花をいけます。中でも苔が付いた松や梅は、苔松苔梅と呼ばれ、おめでたい迎え花として珍重されます。同じような苔は、能舞台の鏡板かがみいたに描かれる老松の幹や枝おいまつにも見られます（写真左、青葉の森芸術文化ホールの鏡板）。これらの苔は、ウメノキゴケ（写真右）という地衣類の仲間です。

本展示では日本文化に表れた苔を、写真など様々な資料から紹介するとともに、地衣類の不思議な世界も併せて紹介します。

#### ●ウメノキゴケは地衣類!?

ウメノキゴケは関東以西の低地の樹木の上によく生えています。成長が遅いので、古い木の幹によく見られることから、これが付く松を長寿の象徴とするようになったと考えられます。大気汚染に弱いので都市部では見られませんが、昔は暖かい地方ならきつとどこにでも生えていたのでしょう。

さて、このウメノキゴケは地衣類の仲間だと言いましたが、地衣類は植物ではありません。菌類の仲間なのですが、カビやキノコとは全く違う姿、暮らしをしています。身近に

あるのに知られていない地衣類がどのような生き物なのか、展示で紹介します。

#### ●リトマスとウメノキゴケの接点

酸性とアルカリ性を判別するリトマス試験紙は、皆さんよく御存じだと思います。実はリトマスという物質は、リトマスゴケという地衣類の仲間から作られています。この種は地中海沿岸などに分布しており、日本で採取することはできません。しかし、同じく地衣類の仲間であるウメノキゴケからも同じようにリトマスを作ることができるのです。

その秘密は、地衣類に含まれる地衣成分と呼ばれる化学物質にあります。ウメノキゴケにはレカノール酸という地衣成分が多量に含まれていて、これからリトマスゴケと同じようなリトマスを作ることができるのです。

そもそもリトマスは、ヨーロッパで羊毛を紫色に染める高価な染料でした。しかし、私たちの身近にあるウメノキゴケでも同じように染めることができるのです。この展示では、本展示のために特別に制作したウメノキゴケから染めた着物を期間限定で展示します。

## 「令和3年度 全国学力・学習状況調査」 結果の活用について

### 県総合教育センター学力調査部

#### 1 全国学力・学習状況調査について

「令和3年度 全国学力・学習状況調査」が、5月27日（木）に対象学年の児童生徒に対して実施されました。

教科に関する調査では、小学校において、新学習指導要領の全面実施に伴い、今年度から評価の観点が変わりました。

##### <教科に関する調査結果>

<小学校>	千葉県	全国
国語	65 (64)	64.7
算数	70 (70)	70.2
<中学校>	千葉県	全国
国語	65 (64)	64.6
数学	56 (56)	57.2

※数値は公立学校の平均正答率（％）を示す。  
ただし、文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位までとし、県平均正答率は小数点以下を四捨五入して示した。

※（ ）内は、千葉市を除いた平均正答率を示す。

#### 2 学校全体で指導改善を推進

県の分析ツールで作成できる以下の四つのシートから自校の成果・課題を発見し、指導の充実・改善のヒントを得ることができます。

##### ①教科・質問紙分析シート

全国、千葉県、自校の教科の結果がレーダーチャートで表示され、自校の状況について一目で捉えることができます。

##### ②経年分析シート

全国と比較した自校の結果について、最大3年間の経年による分析ができます。

##### ③誤答分析シート

各教科の設問ごとの正答率、誤答率などを解答類型別にみることができます。誤答分析を詳しく行うことで、指導の重点項目を明確にすることができます。

##### ④クロス集計シート

生活習慣や学習習慣と学力の関係について、相関関係がみられた設問から、自校の状況を捉えることができます。

#### 3 指導改善サイクルの確立を目指して

##### (1)県の分析ツールで作成した各種シート

管理職が、学校運営に役立てるため、自校の強みや課題を明確にし、手立てを考えることで、実態に応じた取組につなげることができます。また、研究主任を中心に全ての先生方が、授業改善のための資料として活用することができます。

##### (2)文部科学省発行の報告書

今後の指導方法を考える際のヒントとなります。分析を進め、PDCAサイクルに沿って、各学校の実態に即した指導改善サイクルを確立させるために役立てることができます。

##### (3)文部科学省からの調査結果データ

文部科学省からのデータの中に、学校別回答状況整理表（S-P表）があります。学級集団の状況を把握し、強みを生かし、学力を伸ばすことや、個々の児童生徒に応じた、きめ細かな指導の実現を目指すことができます。

#### 4 おわりに

県の分析ツール等を日々の指導に活用して自校の状況に合わせた指導改善サイクルを確立し、学校運営や児童生徒の学力向上につなげるための授業改善に役立ててください。